令和 5 年度 第 4 回海老名市子ども・子育て会議結果

審議会等名	令和 5 年度 第 4 回海老名市子ども・子育て会議
開催日時	令和 6 年 3 月 22 日（金）10 時から 12 時まで
場所	えびなこどもセンター 2 階 201 会議室
出席者	<p>子ども・子育て会議委員 12 名 中尾 隆徳 委員長、石井 友紀 副委員長、水上 信一 委員、 井上 友美 委員、富樫 大郎 委員、北村 智美 委員、 米山 珠枝 委員、林 まち子 委員、大河原 雄亮 委員、 安田 洋司 委員、小針 真理子 委員、山崎 奈菜 委員 （欠席者 3 名：鍵渡 正徳 委員、北川 絵理 委員、 小林 里実 委員）</p> <p>事務局 12 名 保健福祉部次長（子育て担当） 奥田 ともみ、 こども育成課長 本木 大一、こども政策係長 岩本 美香、 こども政策係主査 田邊 千恵子、 こども政策係主任主事 遠藤 和貴子 保育・幼稚園課長 尾内 速斗、子育て相談課長 山田 志保、 障がい福祉課相談支援係長 工藤 麻由子、 生活支援課長 須合 憲路、学び支援課長 松本 晃子、 就学支援課課長補佐 石田 恵美、教育支援課長 麻生 仁</p>
傍聴人数	1 名
公開の可否	☒ 公開 ☐ 一部非公開 ☐ 非公開
一部非公開・ 非公開の理由	
議題	<p>(1) 小・中学校児童生徒の教材費無償化について (2) 海老名市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の実施 報告について</p>
資料	<p>(1) 次第 (2) (資料 1) 小・中学校児童生徒の教材費無償化について (3) (資料 2) 海老名市子ども・子育て支援に関するニーズ調 査結果報告書案 (4) (資料 2-2) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査の 結果概要</p>

	<p>(5) (資料2-3) (仮)海老名市こども計画(第3期子ども・子育て支援事業計画)策定に係る子ども・若者の意見聴取について</p> <p>(6) (資料3) 子ども・若者に関するワークショップについて</p> <p>(7) (参考) 第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画 子ども・子育て支援事業(令和6年4月)</p>
--	---

○会議の内容

1 開会	
【事務局】	<p>本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。ただいまより令和5年度第4回海老名市子ども・子育て会議を開催いたします。また、本日は、議題終了後に委員の皆様でワークショップを行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>次第に沿いまして、議題に移らせていただきます。委員長、よろしくお願いいたします。</p>
2 議題	
【委員長】	<p>それでは、次第に沿いまして進行してまいりたいと思います。</p> <p>議案1「小・中学校児童生徒の教材費無償化について」、事務局から説明をお願いします。</p>
【事務局】	<p>(資料1に基づき、「小・中学校児童生徒の教材費無償化について」を説明)</p>
【委員A】	<p>この事業にどれくらいの予算を確保したのか伺います。</p>
【事務局】	<p>一人あたりの上限額は、小学生1万円～1万6千円、中学生は1万3千円～1万9千円で、予算規模は総額1億5千万円程度です。</p>
【委員長】	<p>他に意見等なければ、こちらは報告事項となりますのでご了承願います。議案1については、以上となります。</p> <p>続いて、議題2「海老名市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の実施報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
【事務局】	<p>(資料2、2-2及び2-3に基づき、「海老名市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の実施報告について」及び「(仮)海老名市こども計画(第3期子ども・子育て支援事業計画)策定に係る子ども・若者の意見聴取について」を説明)</p>
【委員長】	<p>ご意見がなければ、こちらは報告事項となりますのでご了承願います。議案2については、以上となります。</p> <p>議題はこちらで以上となります。</p>

3 その他	
【委員長】	それでは、次第に沿いましてその他に移ります。委員の皆様から何かございますか。
【委員】	なし
【委員長】	事務局からは何かございますか。
【事務局】	子育て相談課から「ヤングケアラー支援対応ガイドライン」のお知らせ
【委員長】	他にないので、その他は以上となります。 その他についても終了となりましたので、ここからは事務局へ会の進行をお返しします。
4 子ども・若者に関するワークショップ	
【事務局】	それでは、「子ども・若者に関するワークショップ」に移ります。ここからは、事務局にて進行させていただきます。 「子ども・若者に関するワークショップ」について、事務局より説明いたします。
【委員】	〈事務局説明の後、委員でのグループワーク実施〉
【事務局】	皆様が考えていただいたご意見について、グループごとに発表をしていただきたいと思います。
【グループA 代表委員】	〈グループAの発表〉 「制度」「SNS」「施設・仕組み」「子どもの気持ち」「コミュニケーション」の5つのカテゴリー キャッチコピー「繋がり 見守る 地域づくり」
【グループB 代表委員】	〈グループBの発表〉 「社会」「整備」「制度」「親」「社会」の4つのカテゴリー キャッチコピー「もっと子どものことを知って みんなで子育てしようよ！」
【グループC 代表委員】	〈グループCの発表〉 「設備・インフラ」「人口増加」「居場所」「子どものケア」の4つのカテゴリー キャッチコピー「人口増加に対して 地域・民間・行政が手を取り合いサポートすることで、子どもたちが安心安全に育つえびな」
【事務局】	皆様ありがとうございました。それでは皆様の発表が終わりましたので、ここで中尾委員長から総括をお願いします。
【委員長】	今回はこのようなワークショップで、細かい意見が出るような仕組みを取らせていただきました。思った以上に多くのご意見が出ました。

その中で、改めて私自身も子どもだったらどうするかということを考えさせられた会議でもありました。

海老名市独自で委員からこのように意見聴取をして、これから子どもの意見が出てきます。

具体的に今回の意見と子どもの意見を合わせたときに、ギャップがあれば、今までの施策の見直しが必要になり、また、ギャップがあまりなければ、我々は子どもに沿った施策をやってきたというように、いろいろな評価になるので、重要なデータだと思います。

そのようなことも含めて、これからは大人ベースで考えた施策を子どもたちがどう思ってるかというところがテーマになります。

このようなことを積み重ねていって、子どもたちが喜び、子育てしやすいまちになるように願っていますので皆さんご協力よろしく願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

最後に皆様のご意見をいただいた中で、行政として今後の展望を述べたいと思います。

今回皆様からこんなに多くのご意見が出てきたことに非常に驚いております。また、皆様携わっているお立場ごとの色が上手に出てきたキャッチコピーだと感じております。

こども計画を策定していく中で、子どもなどの意見を聞いて、それを反映させることが規定されています。その部分に、今回のワークショップの内容も使わせていただきたいと思いますと考えております。

先日、小・中学生に対して、1人1台端末を使ってアンケートを取りました。現在集計中ですが、この結果も非常に楽しみにしております。これまで子どもから直接意見を聞くことは行ったことがなかったので、ここで「こども計画」ということにシフトできたことが、より皆さんの目線に近い計画になっていく期待を込めながら作っていきたいと思います。引き続きよろしく願いします。

【事務局】

それでは、ワークショップについては、以上となりますので、このまま閉会に移ります。

5 閉会

【事務局】

本日は、会議にご出席いただきましてありがとうございました。また、ワークショップへのご参加も誠にありがとうございました。

次回は令和6年5月下旬を予定しております。開催にあたっては改めて事務局よりご案内いたします。それでは、これにて閉会とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。